

長畝ふるさと通信



【2022年8月号】

■ 新潟次郎

3年ぶりの行動制限なしのお盆を迎えることができ、ふるさとには帰省客で大いに盛り上がりましたが、その反動もすごかった。お盆明けからコロナ感染が急拡大して連日200人ほどが感染しています。東京都の人口が1000万人で感染者2万人、佐渡の人口が5万人ですからほぼ東京都と同じ感染率です。人口密度からして危険水域を超える勢いです。うちの職員にも感染者や濃厚接触者が出て(ボクは今のところ無事です)、一部の作業に支障をきたしました。8月24日から新潟次郎(飼料用米)の乾燥調製作業が始まり、毎日50トン近いモミが搬入されてきてテンヤワンヤしています。夜中の12時頃まで作業が続くこともあり、これ以上感染が広がると本番の稲刈りに影響するのでヒヤヒヤしながら仕事をしています。医療現場は崩壊寸前だというのに国や行政

は最終責任の擦り合いをして一向に問題解決に向かいませんが、一方で宗教団体との関係釈明には一生懸命の様子。燃料費や食費が値上がりし国民生活は益々苦しい時に、ボクたちの清き一票は何に使われているのかと憤慨するばかりです。日本人はもっと怒るべきでしょう。



- 連日このコンテナで100台くらいの飼料用米が搬入され大忙しです

■ 交流を深めるって大事です

8月17日、石川県能登半島の子供たちが佐渡キッズ生きもの調査隊との交流事業のため来島しました。トキ関連施設の見学やキッズ田んぼでの生きもの調査などで交流を深めた後、地元「長畝鬼太鼓保存会」による伝統芸能・鬼太鼓を体験してもらいました。鬼太鼓の基本的な太鼓の打ち方教室では太鼓に長蛇の列ができ、目を輝かせながら太鼓のリズムを刻む子供たちに驚きました。「能登のキリコ祭りの太鼓の方が難しいよ」と自慢げにアピールする能登の子供に対し「鬼太鼓なんてスゲーいっぱいあるし」と対抗する佐渡キッズ。子供たちにとって地元の祭りは誇りでもあるんですな。絶やさないう頑張らねばと思い直すひと時でした。



8月22日にはJICA(国際協力機構)の研修生が訪れてくれました。アフリカやフィリピンの若者たちで日本の稲作技術を学びに来ているそうで…。トキ認証米の経緯や仕組みなど熱心に聞いていました。「日本人はコメが主食だと思っているのですが、現在はパンの消費量の方が多い。日本人はコメを食べなくなってしまい、コメが余ってどうしようもない。生産者は作りたくても作れない。」



」など現状を説明すると、「世界では食べることもできない子供たちが大勢いるのにね」と自国との矛盾を感じていたようです。グローバルな世の中でなぜ、こんな深刻な問題が解決できないのだろうと痛感しました。やっぱり交流を深めるって大事です。もっと大きな視野に立って農業は考えるべきですね。

● JICAメンバーの国籍はエチオピア、ケニア、スーダン、ウガンダ、フィリピンなど多国籍で、それぞれ稲作事情が違うので、この研修が参考になったのかは疑問です。楽しい旅行ではあったと思いますが…

■ いよいよ令和4年産米の収穫です

9月10日頃から稲刈りが始まります。今年は苗の外部販売を増やしたり、7月末には予定外の穂肥散布があったりして例年より忙しい思いをしてきたので、成果を期待せずにはいられないのですが、昨年同様、8月後半から雨や曇天が続き日照不足が心配されます。近年、この時期になると全国各地で大雨の災害が発生していますが、その点、佐渡は災害知らずで平和な島です。

登熟期に日照不足になるとモミが細くなって粒張りの悪いお米が出来てしまうので、結果として正粒歩留まりが低くなり収量が減ることになります。栽培に欠かせない肥料や農薬は軒並み値上げとなり、農業機械を動かす軽油や灯油も昨年から比べると1割以上値上がっています。令和4年産のJAのコメ買い上げ価格は一昨年並みに回復しましたが、その程度では追いつかない非常事態です。

とは言え、品質が良かろうが悪かろうが、収量があろうが無かろうが一連の収穫作業は例年通り行うわけで、ここまでくればあとはお天道様と神頼みしかありません。これが農業であり、人間の手に及ばないから尊いのだと思っています。新米は10月中旬にはお届けできると思います。

「世界一貧乏な大統領」で有名な前ウルグアイ大統領のホセ・ムヒカ氏は「人間は生まれながらに自由だ」と言っています。もちろん、おかわりは自由です。



<余談>8月29日のニュース番組で「今年も早くもおせちの予約が始まりました」と紹介していました。お盆が過ぎ夏が終わり、これから秋を迎えるこの時期にもう「おせち」とは…ムヒカ氏は「日本人は急ぎすぎている」と言われましたが、まさにその通り。「日本人、そんなに急いでどこへ行く」…せっかく四季がはっきりした美しい国に住みながら、もっとゆったりと楽しめないのだろうか…